

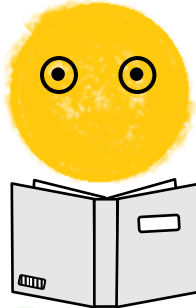
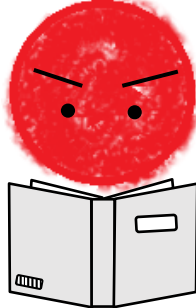
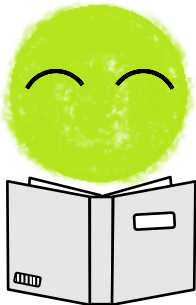
と しょ か ん
図書館には

★★ 今号の特集 ★★
なつやす
夏休みにおすすめの本

わくわく ときどき

じーん

えっ!!



が いっぱい!

たんた新聞

たんた新聞社
〒270-1147
我孫子市若松 26-4
我孫子市民図書館
Tel. 04-7184-1110



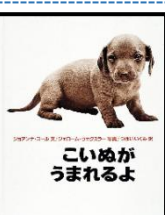
図書館には、いろいろな本があります。おはなしの本だけでなく、しらべる本や工作の本もズラリ。小さいときに好きだった本、まだ知らない本、あなたにぴったりの1さつをさがしてみてね!

1ねんせいに おすすめ



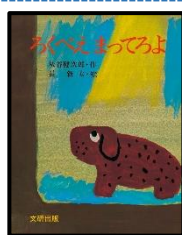
「サリーの
こけもつつみ」

ロバート・マックロスキー
／文 絵
石井 桃子／訳
岩波書店(EA マ)



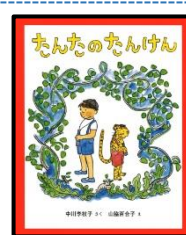
「こいぬが
うまれるよ」

ジョアンナ・コール／文
ジェローム・ウェクスラー
／写真
つばい いくみ／訳
福音館書店(EM カ)



「ろくべえ
まってろよ」

灰谷 健次郎／作
長 新太／絵
文研出版(EAチ)



「たんたのたんけん」

中川 李枝子／さく
山脇 百合子／え
Gakken(1-ナ)



「あおい目のこねこ」

エゴン・マチーセン／さく・え
せた ていじ／やく
福音館書店(2-マ)

おなかをすかせた、あおい目のこねこは「ねずみのくに」をさがしにでかけました。けれども、こわい思いをしたり、あおい目をばかにされたりして、ちっともうまいきません。それでもこねこは「なーに、なんでもないさ」とすすんでいきます。



「はちうえはぼくにまかせて」

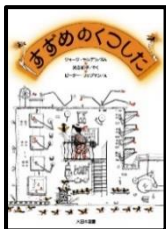
ジーン・ジオン／さく
マーガレット・ブロイ・グレアム／え
もり ひさし／やく
ペンギン社(EA グ)

なつやすみ、どこにもいけないトミーは、おとうさんからなんでも好きなことをしていいといわれます。そこでトミーは、きんじよのはちうえをあずかってせわをすることにしました。はちうえでいっぱいになったいえの中はまるで森のようになって…。

2ねんせいに おすすめ



「たんじょうび」
ハンス・フィッシャー
／ぶん、え
おおつか ゆうぞう／やく
福音館書店(EA フ)



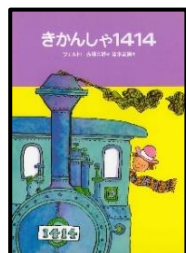
「すずめのくつした」
ジョージ・セルデン／ぶん
光吉 郁子／やく
ピーター・リップマン／え
大日本図書(2-セ)



**「まいごになった
おにんぎょう」**
A.アーディゾーニ／文
E.アーディゾーニ／絵
石井 桃子／訳
岩波書店(EA ア、BEAア)



「こぐまのくまくん」
E.H.ミナリク／ぶん
モーリス・センダック／え
まつおか きょうこ／やく
福音館書店(2-ミ)



「きかんしゃ 1414」
フリードリヒ＝フェルト／作
鈴木 武樹／訳
赤坂 三好／絵 偕成社(2-フ)

きかんしゃ1414は、^{ながねん}長年はたらい
てつかれきってしまったので、ひとば^{よる}んだだけお休み
をもらいました。じゆうに夜のせんろをはしる1414
の前^{まえ}にあ^{あお}らわれたのは、妹^{いもうと}のびょうきをな^おすた
めに青い星の花をさがす男の子、パーターでした。



「おばあさんのひこうき」
佐藤 さとる／作
村上 勉／え
小峰書店(1-サ)

あみもののじょうずなおばあさん
は、ある日、ちょうちよのはねもようをあんでいく
うちに、ふわふわと、そらにうかびあがります。そこで
おばあさんは、たつおくんのすんでいる町までとん
でいくことを思いつきます。

3年生に おすすめ



「ねずみのウーくん」
マリー・ホール・エッツ／作
たなべ いすず／訳
富山房(EAI)



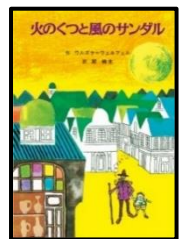
「ぼくは王さま」
寺村 輝夫／作
和田 誠／絵
理論社(1-テ)



**「ちびっこカムの
ぼうけん」**
神沢 利子／作
山田 三郎／絵
理論社(1-カ)



**「ちびドラゴンの
おくりもの」**
イリーナ・コルシュノフ／作
酒寄 進一／訳
伊東 寛／絵
国土社(2-コ)



「火のくつと風のサンダル」
ウルズラ・ウェルフェル／作
関 楠生／訳 久米 宏一／絵
童話館出版(2-ヴ)

ちびでふとっちょなチムは、友だちに
からかわれるのがイヤで、たんじょう日に「ほかの男の
子になりたい」とねがいます。そんなチムに用意され
たプレゼントは、お父さんと二人で^{たび}旅に行くこと。“火
のくつチム”という新しい名前^{なまえ}をもらって、さあ出発^{しゅつぱつ}。



**「せかいいちうつくしい
ぼくの村」**
小林 豊／作・絵
ポプラ社(EA コ)

パグマン村は、春は花でいっぱいになり、夏は色あ
ざやかなくだものがたくさんとれる、うつくしい村で
す。ヤモは村でとれたくだものを売りに、ときどきし
ながら町へでかけます。せんそうにいった兄^{にい}さんのかわ
りに、父^{とう}さんのてつだいをするのです。